



神戸元町ちどいだよ!

令和6年11月 第104号 神戸元町ちどい保育園



長い長い夏でした。今年の秋は短いそうですね。子どもたちは風や空、植物等の身近な自然から季節の移り変わりを見つけたり感じたりしているようです。秋らしさをもっと共に感じられるように、大人もタイムリーに言葉を選び、子どもたちの気づきを受け止めて応答的に関わっていきます。

幼児クラスでは先月、親子芋ほり遠足に出かけました。週明けの天気を読めず、決行か中止かを迷いに迷った上での実施でした。皆様にもたくさんのご協力をお願いする勇気のいる決断でしたが、終わってから「行って良かった」とたくさんお声をいただき、ホッとしました。収穫も例年より控えめでしたが、みんな「美味しかった」「スイートポテト!」「いっぱい食べた」とそれぞれ味わった喜びを表現していました。お忙しい中、ご参加ありがとうございました。

やはり実体験は子どもたちにとって宝物ですよね。絵や写真、映像で見たことある、聞いたことある、知ってる…だけではなくて、自分が実際に経験し感じたり考えたりしたことが強く残ります。五感を通して物事を認識し、認識したものがどういうものを理解し、理解したことによって何かしらの感情が生まれてくる、そうやって感性が育てられていると言われていています。その感性が子どもの視野を広げていろいろな物事に目を向けさせ、興味関心、疑問が生まれ、さらに学びたい、やってみたいという気持ちに繋がっていくのだそうです。大人になって、自分で考えて答えを生み出す力が必要とされた時、きっと今この幼児期の体験から得た感性が活きる、そう深く考えながら今後も子どもたちと“楽しい”“面白い”“不思議だな”を繰り返す毎日と一緒に過ごしていきたいと思っています。

新村 久美子

あさひぐみ



体操が大好きな子どもたち。「わ〜お!」「どんぐりみつけたよ」などの曲に合わせて、ノリノリで手足を動かしています!

ひかりぐみ



活動後や給食の前に自分で水道に向かう子どもたち。石鹸をつけ、こすり洗いをしながら「ピカピカ!」と言って嬉しそうにしています♪

にじぐみ



栽培しているサツマイモの葉っぱを観察しました。普段見る葉っぱと色や形が違うことに気づき「ハートみたい」「黄色になってるね」と伝えていました☆

きりんグループ



1階園庭に落ちているオーリーブの実を拾った子どもたち。観察したり、皮をむいて中の様子を調べたりして、身の回りの自然に興味を持っていました!

ぞうグループ



避難リュックの中身をみんな確認。「ロープはなんで必要なの?」「くくりついたり落ちた人も引っ張ったりできるね」と1つひとつの道具の役割や大切さを話し合いました。

うさぎグループ



収穫したナスでクッキング!普段は野菜が苦手なお友だちも「おいしい〜」「2個も食べた!」と嬉しそうにしています♪

11月の予定

誕生会 7日(木)	避難訓練・内科健診 12日(火)	よい子の集い(5歳児) 14日(木)
体育遊び 14日(木)・28日(木)	クラス懇談会(にじ組・きりんグループ) 16日(土)	
たかとりちどり交流(5歳児) 26日(火)	発育測定 25日(月)~27日(水)	